

柏崎市&柏崎商工会議所&新潟工科大学 三者連携協定締結

新潟工科大学は、12月2日(金)に、柏崎市及び柏崎商工会議所と三者連携協定を締結しました。

本協定では、「防災と環境・エネルギーに関する研究」に取り組み、密接な連携及び協力を図りながら、それぞれが有する資源を活用して、産業技術力の向上や安全・安心なまちづくりの実現に資することを目的としております。協定のベースとなる研究では、フェーズフリー (Phase Free) をキーワードに、次の3点を中心とした防災と環境・エネルギーに係る研究を進め、脱炭素を推進し、柏崎市として強靱かつ自立可能なエネルギー都市の形成を図ります。

また、研究をベースに、防災と環境・エネルギーに係る人材育成・定着や地域住民への普及啓発、理解促進を3者が連携して進めて参ります。

いつも (平常時)	もしも (非常時)
①防災・環境情報発信仕組みの開発	
<ul style="list-style-type: none"> 安心感のため安全なリスクコミュニケーション手法確立 環境モニタリング (ドローン通学路・難アクセス施設の見守り、エネルギーフロー見える化) IoTデバイスやデータサイエンス技術を活かした建物保全手法の構築 データ健全活用のためのオープン・クローズ手法の確立 (受発注間、市民・組織) 	<ul style="list-style-type: none"> 非常時のリスクコミュニケーション 避難所安全性の見える化システムの開発 危険度判定の迅速化の手法開発 発災時の広域モニタリング
②高サイクル地域資源 (エネルギー) の創出・活用に関する研究	
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源活用によるロスレスエネルギーシステムの開発 中山間地での再生エネルギーの創出 地域資源エネルギー備蓄機構の開発 ゼロエネルギー技術の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 途切れないエネルギー供給機構の開発
③都市計画を踏まえた事業所や教育現場への防災教材の開発	
<ul style="list-style-type: none"> 事業所のノウハウ継承のための取組ツール開発 災害状況を踏まえた防災対応教材の開発 ドローン (設計・運航) 活用のための技術育成拠点の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続 (BCP) への取組検証 災害サポーター支援体制の構築
活動・発信拠点の形成	
防災、環境・エネルギー情報発信拠点	第2 オフサイトセンター



製造業等社内SEインターンシップ

新潟工科大学は、製造業等においてITを駆使できる「製造等・ITハイブリッド人材」の育成を図る事を目的に、新潟県の委託を受け、工学を志す学生(特にIT志望の学生)に対し、「社内SEインターンシップ」を実施しました。

参加した学生6名は、それぞれの受入企業 (株式会社 飯塚鉄工所、株式会社 テック長沢、日本メッキ工業 株式会社) において実習先の業務を体験した上で、課題の洗い出しを行い、課題解決のためのDX化に向けて必要な装置の提案、システム設計、実装等の社内SEとしての一連の業務を体験しました。

参加した学生からは、本インターンシップを通じて製造業等で社内SEの必要性を肌で感じてまいりました。またインターンシップ終了後、成果報告会を開催し、参加学生及び受入企業のご担当者から本事業の取組成果を他の在学学生に伝え、製造業等でSEが活躍できることを認識することができました。

